

在学生の声

千葉県
出身

水産生物研究会での活動写真

海洋生物資源学科 2 年（女子）
昭和学院秀英高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

生物が大好きで、特に魚についてもっと学びたいと考えたとき、海洋大であれば最先端のことも含めてさまざまなことを学べると考えたからです。

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

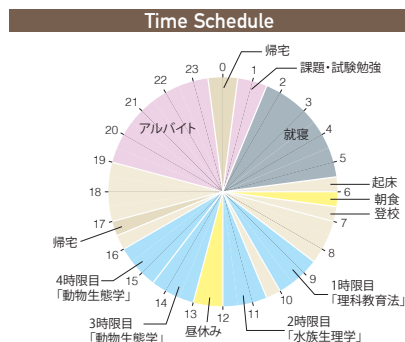
生き物好きや魚好きが集まるからこそ生まれる会話があって、気の合う人がたくさんいるところです。

◆ 学科の特長、ユニークなところは？

海洋生物について詳しく学べる授業が多く、学生も豊富な知識を持っているため、一つの授業や一度の会話からでも多くのことを学べるところです。

◆ 受験生に向けて、ひとこと

受験勉強はつらく大変なものではありますが、それを乗り越えると輝かしく楽しい学生生活が待っています。皆さんとこの海洋大でともに学べることを楽しみにしています。受験、がんばれ！

静岡県
出身

素潜り採集の様子

海洋生物資源学科 4 年（男子）
静岡県立浜松北高等学校卒業

◆ 入学後に印象が変わった点や意外だった点は？

意外にも魚が好きな人ばかりではなかったことです。魚以外の無脊椎動物や水生哺乳類などが好きな人や、生物にあまり詳しくない人も予想よりも多かったです。

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

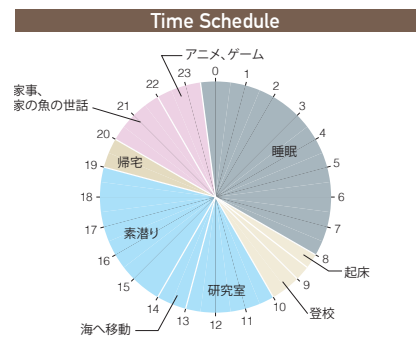
学内の友人に恵まれ、共に日本各地を訪れて様々な生き物を採集している時です。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

実習でのフィールドワークは楽しい反面、データの整理や統計処理に時間がかかり、時に忍耐力が求められます。また、自然や生き物を相手にするので、実験では思ったような結果が出ないこともあります。

◆ 将来の夢、目標は？

水産業や生き物に関わる仕事に就きたいと考えています。



卒業生からのメッセージ

伊藤 さくらさん

2018（平成30）年度 海洋科学部海洋生物資源学科卒業
2020（令和2）年度 大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻修了
長崎県水産部漁業振興課（水産庁から出向中）

長崎県庁で資源管理の推進に関わる業務を担当しています。現場漁業者の声を聞きながら、水産資源を今後も利用するための漁獲可能量（TAC）制度について日々勉強中です。

海洋大の魅力は、専門性の高い授業はもちろん、様々な実験・実習が用意されていることが大きな一つだと思います。水産業関連の施設見学やフィールドに出て生物を扱う課題研究等、実験・実習に参加して得た知識や経験は、働く中で大きな基礎となっています。また海が好きな人が集まる大学ならではの部活動・サークルも多く、日常会話から得られる海にまつわる情報も大変面白いです。在学中に得られる学びや経験、友人は大きな財産になるはずです。



在学生の声



一年生で行う実習で作る燻製の様子



所属する学生運営カフェで販売したスイーツ

食品生産科学科 2 年（男子）
東京都立墨田川高等学校卒業

◆入学後に印象が変わった点や意外だった点は？

海や魚に関する教科ばかりかと思っていましたが、実際には心理学や芸術学など、個人的に興味のあった全く異なる分野の学問にも触れられる点です。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

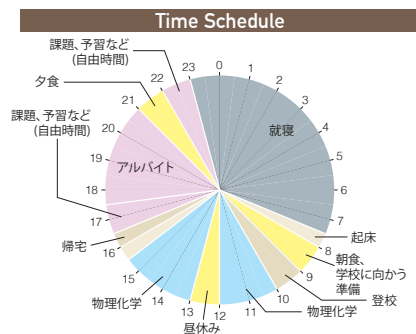
授業の所々で教授の研究内容や釣りの武勇伝などが聞けて、海洋大にいるなと感じる時です。

◆学科の特長、ユニークなところは？

食品に関するあらゆる知識を、実験や実習を通して学べるところが特徴だと思います。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

実習では、普段目にしない食品の作り方を体験できたり、作ったものを食べたりして、食に興味がある人ならとても楽しい学科だと思います。



食品生産科学科 4 年（女子）
横浜市立南高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

食べることが好きで、食品について深く学びたいと考えたからです。微生物、加工、冷凍、殺菌、流通など、食品について幅広いアプローチで学べるところに魅力を感じました。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

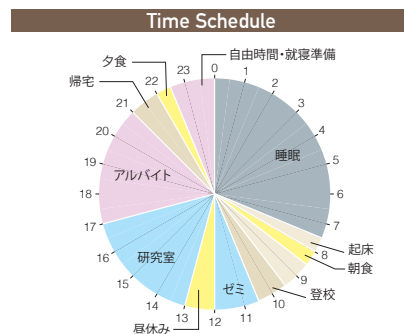
3 年次の食品生産学実習では、ツナ缶とサバ缶の製造を行いました。実際の工場での製造工程や衛生管理、原価管理などを学ぶことができ、忙しくも充実した実習でした。

◆将来の夢、目標は？

食品業界に携わり、自身が考案・開発した商品を手に取ってくれた方に、食べる喜びや笑顔を届けることが私の目標です。

◆受験生に向けて、ひとこと

食品に関する授業の充実さだけでなく、気の合う仲間とともに非常に濃い学生生活を送ることができる、唯一無二の学科です。食品生産科学科でお待ちしております！



卒業生からのメッセージ

前川 龍之介さん

2018（平成 30）年度 海洋科学部食品生産科学科卒業
2020（令和 2）年度 大学院海洋科学技術研究科食機能保全科学専攻修了
パナソニック株式会社 コールドチェーンソリューションズ社 コールドチェーン事業部

大学院では予冷が食品の凍結時間と氷結晶に及ぼす影響の研究を行いました。研究で得た知識を生かし食のインフラを支えたいと考え、現在コールドチェーン機器の開発を行っています。

本学科では原料～加工～流通～保存といった食品のほぼすべてを、工学・生物学・化学の幅広い視点から学ぶことができます。また実験や実習といった手を使って食品知識を深める機会も多くあり、ここで培った実践的な食品知識は今の仕事にも大きく役立っております。

食は人間が生きていくには欠かせないものです。しかし安全性や資源の持続性等の課題を未だ多く抱えております。皆さんも本学科にて食を学び、一緒に食の未来を作っていきますか。



在学生の声

愛媛県
出身

神奈川県にて刺網漁業の手伝い

海洋政策文化学科 2 年（男子）
愛媛県立松山東高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

日本の恵まれた海岸線を活かし、海を有効に活用する方法を学びたかったからです。海と人とのかわりを深く学ぶことができると考え、選択しました。

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

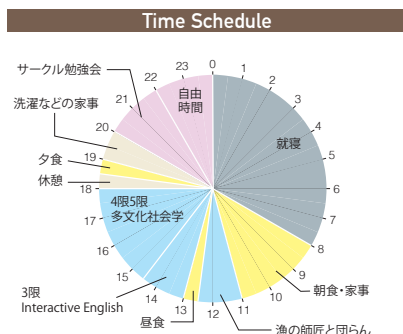
海に関するサークルが多い点です。私も水産業について勉強するサークルに入り、そこでの学びを現場や教室での勉強に活かしています。

◆ 学科の特長、ユニークなところは？

海と人とのつながりを学ぶことができる点です。目の前に広がる海が、漁場になり、教育現場になり、レジャーの場になる、自分の興味に応じて海と人の関係にアプローチできます。

◆ 将来の夢、目標は？

日本の海には、可能性はまだあります。全長約3万5千キロメートルに及ぶ海岸線をフル活用して日本を沿岸から元気にしたい！

埼玉県
出身

留学中の写真

海洋政策文化学科 4 年（女子）
お茶の水女子大学附属高等学校卒業

◆ 入学後に印象が変わった点や意外だった点は？

「海洋大」という名前からは専門的でニッチな分野を想像していましたが、実際には環境・文化・経済・法律など、海に関わる分野は多岐にわたり、広い視野で学ぶことができました。

◆ 学科の特長、ユニークなところは？

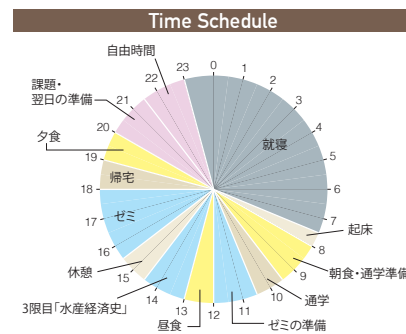
海洋政策文化学科は比較的人数が少ないため、先生との距離が近く、一人ひとりをしっかり見ていただける環境です。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

1年生の時のプール実習は体力的に大変でしたが、普段は立ち入ることのできない港や研究施設、漁業の現場などに足を運び、自分の目で見て感じて、学べる点は魅力的です。

◆ 受験生に向けて、ひとこと

海洋政策文化学科には、多様なバックグラウンドと豊かな経験を持つ先生方が多くいらっしゃいます。きっと有意義な4年間を過ごすことができると思います。



卒業生からのメッセージ

長嶋 功陽さん

2020（令和2）年度 海洋生命科学部海洋政策文化学科卒業
2022（令和4）年度 大学院海洋科学技術研究科海洋管理政策学専攻修了
水産庁漁政部漁政課

元々生物が好きだったのですが、漁師だった祖父との何気ない会話から、漁村や水産物を扱う人々の暮らしを良くしたいという気持ちが高まり、「海・人・社会」のつながりを探究するというフレーズに惹かれて本学科を目指しました。在学中の実習で多くの漁村を訪れ、現場の生の声を聞くことができたことは貴重な経験です。また、経済学や経営学、流通論等の理論から、水産業を理解する講義に、現場を見ただけでは分からなかった「どうして？」が理解できたときの興奮は今でも忘れられません。単なる「物知り」を目指すのではなく、現場で起こる不思議な現象を社会科学を中心としたサイエンスで解明する。他大ではあまりできない、そんなワクワク感を是非皆さんにも味わっていただきたいです。

